

視覚障害者の iPhone 教室 テキスト

2 文字入力とメモ・メールアプリ

姫路デジタルサポート
2021 年 7 月 7 日

目次

はじめに

1 準備

- (1) 設定
- (2) キーボードの切り替え
- (3) メモアプリの起動

2 文字入力

- (1) 入力モード
- (2) 入力方法
- (3) 予測入力と漢字変換
- (4) 音声入力
- (5) ユーザー辞書の利用

3 文章の修正

- (1) 挿入ポイントの移動と削除
- (2) コピー & ペースト
- (3) 参考

4 メールアプリ

- (1) 設定
- (2) メールボックスの概要
- (3) メッセージを読む・返信
- (4) 作成・送信
- (5) 一括処理
- (6) 迷惑メール・ゴミ箱

はじめに

ワクチンの接種予約や国勢調査のインターネット回答など、スマホを利用したサービスがこれからも増加すると予想されます。これらのサービスを利用するには、名前やメールアドレスの登録が求められます。今回の講座では、VoiceOver を使ってこれらの入力ができるスキルの習得を目指します。

VoiceOver での文字入力は、時間と労力が必要とされていますが、両手の指を使い、スプリットタップを行うなどの工夫によって比較的速く入力することもできます。また、音声入力を用いることによって長文の入力も可能になります。

1 準備

(1) 設定

□ キーボードを使いやすくする

「設定」->「一般」->「キーボード」の設定

- ・「キーボード」->「新しいキーボードを追加」->「日本語-かな入力(テンキー型)」を選択・自動修正：オフ
- ・文字プレビュー：オフ
- ・自動大文字入力：オフ
- ・フリック入力のみ：オフ
- ・なぞり入力：オフ

□ タッチをしやすくする

「設定」->「アクセシビリティ」の設定

- ・「タッチ」-> 簡易アクセス：オフ
3 Dtouch：オフ
シェイクで取り消し：オフ

□ 文書を編集したり、読みやすくする

「設定」->「アクセシビリティ」->「VoiceOver」

- ・「ローター」：次の項目にチェックが入っているか確認する。
 - 入力モード、テキスト選択、編集
 - 文字、単語、行、文
 - 見出し、ランドマーク、記事

(2) キーボードの切り替え

□ キーボードの確認

現在、どのようなキーボードが使用できるか確認します。通常、複数のキーボードが登録されています。

- 「次のキーボード」 ボタンをダブルタップし、押さえたままにします。

- ゆっくりと指を上になぞって行くと、キーボードの種類を読み上げます。
「日本語かな」「日本語ローマ字」「English(Japan)」など
「English(Japan)」は、パソコンを使っている方には、メールアドレスやIDなどのアルファベットを入力する場合に便利かも知れません。
- 「キーボード設定」と読み上げると、そこが最後です。
- 読み上げたキーボードの種類のところでは指を離すと、そのキーボードに切り替わります。

□ キーボードの切り替え

使用するキーボードを順番に切り替えられます。

- 「次のキーボード」ボタンをダブルタップ、またはスプリットタップをします。
ダブルタップをした後、キーボードの種類を読み上げますが、それは現在のものではなく、次のキーボードの種類です。

□ キーボードの設定

- 次のキーボードをダブルタップし、押したまま、「キーボードの設定」までドラッグします。その後、指を離します。
また、次の別の方法もあります。
「設定」->「一般」->「キーボード」->「キーボード」
どちらの方法でも、同じ画面になります。
- キーボードの追加
-右スワイプで「新しいキーボードを追加」ボタンを実行します。
-新規キーボードを選択し、チェックする。必要に応じて、キーボードのタイプを追加でチェックします。
- キーボードの削除
削除するキーボードを選択し、上・下スワイプをし「削除」に合わせて、ダブルタップします。

(3) メモアプリの起動

文字入力の練習では、文字を入力するところ(テキストフィールド)が必要です。
ここでは、メモアプリのテキストフィールドで入力の練習を行います。

□ メモアプリを起動し、テキストフィールドに移動

- Siri を使って、メモを起動する
もし、使用中のメモなら新規メモボタンをダブルクリックします。
- テキストフィールドを探す
右、左フリックで全体像を把握します。
「メモ戻る」ボタン、メモアクション、作成日時、テキストフィールド、「ツールバー」ボタン、「カメラ」ボタン、「手書きツールを表示」ボタン、新規メモボタン・無効
- ・テキストフィールドをダブルタップ

先頭から入力する準備ができました。下半分には、スクリーンキーボードが表示されています。

□ キーボードの各キーの位置と機能

- > 携帯電話のテンキーに似たキー配置になっています
- > 「あ」のキーからテンキーが始まり、
 - 1行目に「あ」「か」「さ」、
 - 2行目に「た」「な」「は」、
 - 3行目に「ま」「や」「ら」、
 - 4行目に「わ」が配置されています。
- > テンキーの左、右にもキーがあり、
 - 1行目の左に「完了キー」、右に「削除ボタン」、
 - 2行目の左に「逆順」、右に「空白」
 - 3行目の左に「文字」、右に「改行」
 - 4行目は、3行目と同じです。
- > 5行目の左に「次のキーボードボタン」、右に「音声入力ボタン」が配置されています。

□ 練習

- 指でなぞってキーの位置を確認しましょう。

* キーボードを使いやすくするためにテンキーの「な」と「削除」の位置にシールを貼ると使いやすくなります。

- > テキストフィールドの1行目がこのメモのタイトルとなります。



図 メモと日本語かなキーボード

2 文字入力

(1) 入力モード

入力モードには次の3つのモードがありますが、「標準入力モード」に設定します。

- 標準入力モード：

左または右にスワイプしてキーボードのキーを選択してから、ダブルタップして文字を入力します。または、スプリットタップで入力します。文字を入力した時

に再度読み上げられます。

- タッチ入力モード：

キーボードのキーにタッチして選択し、指を離して文字を入力します。間違ったキーをタッチした場合は、使用したいキーに指をスライドさせます。

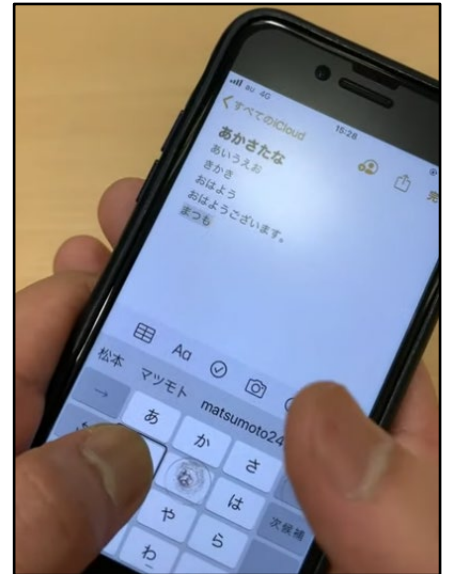
- ダイレクトタッチ入力モード：

VoiceOver がキーボードのみで無効になるため、VoiceOver がオフのときと同じように入力できます。

(2) 入力方法

□ 本体の持ち方と使用する指

- 本体を抱えるように両手で持ちます。
- 左手の親指と右手の親指を使って、スプリットタップで入力します。
- 左手の親指でキーを探し、その指は押しまま、右手の親指でタップを繰り返します。
- 例えば、「う」を入力する場合、左手で「あ」キーを探し、すかさず、3回タップすると、「あ」「い」「う」と読み上げがあります。これで「う」が入力されます。



□ 練習

- 「おはようございます」と入力してみましょう。
- 「確定」キーで確定します。
- 「テキストフィールド」で確認してみましょう。
 - カーソルはキーボード上にあるので、テキストフィールドへの移動は左・右スワイプではなく、1本指をドラッグしながら上に移動します。
 - テキストフィールドでは、上・下スワイプが基本となります。移動単位を、ローターで文字、または、単語、行に設定します。

図 文字入力時の指の使い方

(3) 予測入力と漢字変換

□ 予測入力

一度入力したことのある単語は、最初の数文字を入力するだけで、予測単語として利用できる便利な機能です。

- 文字の入力

例えば、「おは」とキーボードで入力する。

- 下スワイプをすると、「お早う」と候補が出ます。そこで、ダブルタップで決定をすると「お早う」が入力されます。
- さらに、下スワイプすると、「ございます」と候補が出てくるので、決定をします。

「おは」と2文字の入力で、「お早うございます」という文を入力することがで

きます。

□ 漢字変換

次は漢字変換を行います。

- 文字の入力

例えば、「こうえん」と入力します。

- 漢字の候補を提示

下スワイプをすると候補を読み上げます。下スワイプを続けると、次の候補に順に移動します。逆に、上スワイプは、候補を逆順で読み上げます。カタカナも漢字変換で行います。なお、キーボードの「次候補」や「確定」キーは使いません。

- 確定

読み上げた候補で、ダブルタップします。テキストフィールドに、その候補が入力されます。

(4) 音声入力

音声入力を用いると、長文も素速く入力できます。音声入力ボタンも利用できますが、2本指でダブルタップすることによってより簡単に音声入力の開始と終了をするができます。

□ 練習

- 次の文を音声で入力してみましょう。

例文：「東京都は5日、新型コロナウイルスの感染者を新たに342人確認したと発表した。」

なお、「、」はテンと、「。」はマルと発音します。

- テキストフィールドで確認してみましょう。

□ 音声と対応する記号

音声

入力されるのも

- | | |
|-----------|---------|
| ● かいぎょう | (改行される) |
| ● まる | 。 |
| ● てん | 、 |
| ● こんま | , |
| ● どっと | . |
| ● はてな | ? |
| ● あっとまーく | @ |
| ● びっくりまーく | ! |
| ● ぷらす | + |
| ● まいなす | - |
| ● すらっしゅ | / |
| ● かける | × |

- | | |
|----------|---|
| ● くろまる | ● |
| ● さんかく | △ |
| ● くろさんかく | ▲ |

(5) ユーザー辞書の利用

さまざまなサービスにおいて、ID またはメールアドレス、住所、名前、パスワードなどの登録が求められることがあります。ユーザー辞書を利用して、これらの入力を素速く行うことができます。

□ ユーザー辞書の登録

例えば、自分のメールアドレスを登録します。

- 「一般」->「キーボード」->「ユーザー辞書」-> 「追加ボタン」
- 「単語」と「よみ」に入力します。
「単語」には、登録したい文字列を入力します。
「よみ」には、登録した単語を呼び出すための文字列を入力します。
- 「単語、テキストフィールド」に入力します。
- 入力した後、右スワイプで「よみ、テキストフィールド」をダブルタップし、入力します。
- 右上の「保存」ボタンを実行します。
これでユーザー辞書の登録が完了しました。

□ ユーザー辞書の確認

- 「メモ」アプリのテキストフィールドを編集にします。
- ユーザー辞書で登録した「よみ」を入力し、下スワイプで変換候補を確認します。
先ほど登録した単語が候補として現れます。

3 文章の修正

(1) 挿入ポイントの移動と削除

□ 移動単位の設定と移動

- 移動単位は、ローターで「文字」「単語」「行」から選択します。
- 挿入ポイントをテキストの前または後ろに移動するには、上または下にスワイプします。
- 先頭または末尾にジャンプするには、テキストフィールドをダブルタップします。
- 挿入ポイントを移動すると音が鳴り、挿入ポイントの移動先にある文字、単語、または行が読み上げられます。
- 前に移動している場合は、読み上げられた文字または単語、行の後に挿入ポイントがあります。

練習 ローターを「行」に設定して、「あはようございます」の後ろに、「改行」を入力し、「挿入文」と入力してください。入力は音声でできます。

□ 削除

- 削除する文字の前まで挿入ポイントを移動します。
下スワイプによって文字単位で移動します。または、2本指の右スワイプを行います。
- 一文字ずつを削除する。
「削除」キーをスプリットタップで一文字ずつ削除します。
- 行単位、単語単位で削除する。
 - ローターを「テキスト選択」にセットし、下スワイプで「行」または「単語」に合わせて、右スワイプします。選択した行、または、単語を読み上げます。
 - 削除キーを押します。

(2) コピー&ペースト

- コピーすべきテキストを選択する。
 - ローターを「文字」または「単語」「行」にセットし、コピーすべきテキストの前に挿入ポイントを移動します。
 - ローターを「テキスト選択」にセットし、下スワイプで「文字」または「単語」に合わせて、右スワイプをします。
- テキストをコピーする
ローターを「編集」にセットし、下スワイプで「コピー」に合わせて、ダブルタップをします。または、3本指で4回タップをします。
- 挿入ポイントに移動する。
ローターを「文字」または「単語」「行」にセットし、適切な挿入ポイントに移動します。
- ペーストする。
ローターを「編集」にセットし、「ペースト」に合わせて、ダブルタップをします。これで、やっとペーストが完了しました。
この方法は、複雑な手順で時間も要するため、お勧めはできません。

(3) 参考

- ・ニポラチャンネル 文字入力
https://www.youtube.com/watch?v=P2k4_C77fZI
- ・ニポラチャンネル 文字入力パート2
<https://www.youtube.com/watch?v=Vak2-J6PTnA>

4 メールアプリ

メールアプリも数年来使いやすくなっています。それまでは、削除ボタンや返信ボタンを探して実行していましたが、ローターのアクションが自動的に設定されるようになり、受信ボックスのメールをタップし、そのまま下スワイプを行うことによって、削除や返信が行えます。

音声入力等を用いることによって簡単にメールの作成も行うことができます

(1) 設定

メールアプリを使いやすくするため、設定を行います。

「設定」->「メール」

- 「通知を許可」：オン 「ロック画面」「通知センター」：選択
ロック状態であって、メールを受信する度、知らせてくれ、便利です。
- アカウント：メールアドレスを登録します。複数のアドレスを登録することができます。
- 「スレッドにまとめる」：オン
例えば、受信したメールに返信するなど、同じ内容のやりとりを一つにまとめることをスレッドといいます。やりとりの内容を順にみていくことができます。スレッドに複数のメールがまとめられている場合、下スワイプをしていくと「スレッドを広げる」と読み上げます。
- 受信拒否設定：受信を拒否したいメールアドレスを登録します。
- 署名：デフォルトでは「iPhone から送信」になっていますので、適切な文に修正できます。

(2) メールボックスの概要

メールボックスには、いくつかのホルダーが配置されています。

- 全受信：複数のアカウントがある場合、全受信ボックスで複数のアカウントのメールをまとめて、読むことができます。
- VIP：VIP に指定したメールアドレスだけが表示されます。「詳細情報」ボタンでVIP に追加できます。
メールボックスの右上の編集ボタンを押すことで、新しいメールボックスを作成することができます。
- フラグ付き：フラグ付きのメールだけを表示するボックスです。なお、メール一覧で下スワイプすることで、フラグを付与します。



図 メールの設定画面

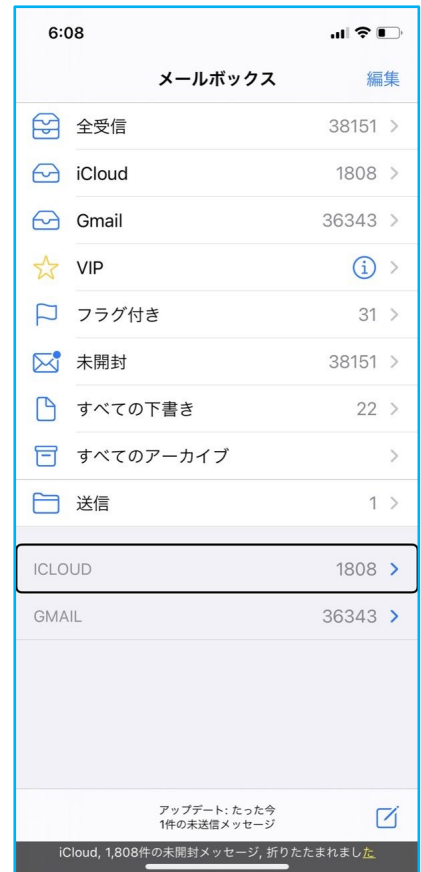


図 メールボックスの画面

- 未開封：未開封のメールだけを表示するメールボックスです。
- アーカイブ：アーカイブされたメールだけを表示するメールボックスです。メール一覧で下スワイプすることで、アーカイブに移動できますが、受信ボックスには残りません。

(3) メッセージを読む・返信

□ 読む

受信ボックスの個々のメールをダブルタップし、メールの全文画面に進むと、本文の最初を読み上げます。

- 件名を読む
左スワイプで戻ると、件名を読み上げます。
- 全文を読む
2本指で下スワイプをします。
- リンク先に移動する
リンクと読み上げられたテキストは、ダブルクリックでリンク先に移動できます。電話番号の場合も、電話アプリに移動します。
- 前・次のメッセージへ移動する
右上にある「前のメッセージボタン」または「次のメッセージボタン」を押します。

□ 返信する

- 返信アクションの選択
メール全文画面のテキストにおいて、下スワイプをして、「返信」に合わせてダブルタップします。
- 返信のテキスト作成
 - 右スワイプで、返信ボタンまで移動し、ダブルタップします。
 - 返信のメール作成画面が表示され、本文のテキスト編集中心となりますので、そのまま、キーボードで入力するか、音声で入力をします。なお、本文の後には、送付メールが引用されています。
 - 音声の場合、2本指のダブルタップで、音声認識を開始します。また、終了する場合も2本指のダブルタップを行います。
 - 入力文の確認
ローターで「行」に合わせて、下スワイプにより行単位で読み上げ、確認します。
- 受信文にコメントする場合
引用文の途中に改行を挿入し、コメント文を書きます。コメントが複数の場合に便利です。
- 送信する
右上の送信ボタンを押します。

□ 削除する

下スワイプで「削除」にセットし、ダブルタップします。

(4) 作成・送信

- メール作成画面を出す

メールボックス、受信ボックス、個々のメール全文画面のどの画面でも、右下の新規作成ボタンをダブルタップします。

- 宛先の記入

-宛先のテキストフィールドに送付相手のメールアドレスを直接入力するか、または、「連絡先を追加」ボタンを押し、連絡先の中から選択します。

-直接入力場合、相手のメールアドレスの最初の文字を入力すると、候補が現れますので、ダイレクト操作で選択します。

- 件名の入力

- 本文の入力

- 下書きの保存

-左上のキャンセルボタンを押し、「下書きを保存」ボタンを押します。

-後ほど編集する場合は、メールボックスの下書きボックスを開き、目的の下書きを選択します。

- 添付ファイル

➤ メール作成画面からも写真や文書を添付することは可能ですが、複雑な操作が必要となります。

➤ むしろ、次の方法が分かりやすいです。写真アプリや文書アプリの一覧からファイルを選択し、共有ボタンを押し、共有手段としてメールアプリを選びます。

(5) 一括処理

受信ボックスにおいて、複数のメールを選択し、「削除」「フラグ」「未開封にする」などの処理を一括して実行することができます。

- メールを選択する

右上の編集ボタンを押します。選択すべき個々のメールをダブルタップし、選択します。

- 処理を実行する。

下スワイプで「削除」または「フラグ」「未開封にする」に設定し、ダブルタップします。

(6) 迷惑メール・ゴミ箱

迷惑メールボックス、ゴミ箱ボックスの中のメールは、1ヶ月で削除されます。

1ヶ月以内であれば、ゴミ箱から受信ボックスに復活させることができます。